

令和6年度 第2回学校運営協議会 会議録 (要点記録)

- 1 開催日時 令和6年6月24日(月) 13時45分から15時40分まで
- 2 開催場所 与進北小学校 ひだまり
- 3 出席委員 栗田 孝代、中根 その美、森田 良信、佐藤 真、  
西村 進也、高杉 威一郎  
石田 みゆき(学校支援コーディネーター)  
田光 美智代(学校支援コーディネーター)
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 村田 弘貴(長上協働センター主事)
- 6 学校 河合 勝之(校長)、山田 正典(教頭)、各務 哲人(CS担当)  
瀧本 恵子(CSディレクター)
- 7 教育委員会 清水 悠(教育総務課)
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 瀧本 恵子
- 10 議長の選出  
司会から、議長の選出について中根委員を指名し、全員異議なくこれを了承した。
- 11 協議事項
  - (1)本年度の目標について
    - ・学校応援団(個人や企業)と学校や家庭、地域との連携や協働の推進をする。
    - ・十分な情報発信や「ひだまり」の有効活用
  - (2)現在の進捗状況について
  - (3)よきた「ながら見守り」ボランティアについて
  - (4)「お花で笑顔に」プロジェクトについて
- 12 会議記録  
司会の山田教頭から、委員全員が出席しており、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。  
  
(1)本年度の目標について  
議長の指示により、教頭から本年度の目標について説明があり、議長から賛否の確認があった。全員賛成挙手でこれを承認した。

## (2) 現在の進捗状況について

議長の指示により、学校支援コーディネーターの石田委員から別紙資料に基づき現在の進捗状況について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 今の子供たちは家で誰かが裁縫する姿を見ていないのではないか。糸切鋏と裁ち鋏、玉止めと玉結びの違いがわからない子もいる。支援に参加することで自分たちも今の子供たちのことが分かる。できたことを褒めるとにこっとする。(栗田会長)
- ・ 地域の大人の役割として、子供たちに付き添い、できなかった子が1人でも笑顔になれば良い。(中根委員)
- ・ 私たちがなぜ支援に入るかという、子供たちの安全のためである。(栗田会長)
- ・ 声掛けが大事で、遅かった子にも「ここまでできたね」「がんばったね」とできたところを褒める。(石田委員)

## (3) よきた「ながら見守り」ボランティアについて

議長の指示により、学校支援コーディネーターの石田委員から別紙資料に基づき「ながら見守り」ボランティアについて説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 引率の時にたすきを着けていると安心してできる。徘徊している高齢者の見守りもしてほしいという話があった。(石田委員)
  - ・ 防犯パトロールで使っていた帽子やビブスは自治会で倉庫に保管している。今は何か取り組みがあるとその都度用意されているので使わなくなってしまった。使うならいつでも倉庫を開ける。(森田委員)
  - ・ 学校運営協議会として、「ながら見守り」ボランティアについて手紙を出したりするか。(栗田会長)
- ⇒ 参観会の時などに案内するつもり。コミスクだよりで知らせる方法もある。たすきの実物を見てもらう方が良いと思う。(石田委員)
- ・ ウォーキングをしている人が多いから、そういう人に着けてもらおうと良い。(田光委員)
  - ・ 今の子供たちは知らない人に声を掛けられると不審者だと思う。(栗田会長)
  - ・ たすきは名前とか住所とか校区を登録をしないともらえないので、信用して良いと思う。(石田委員)
  - ・ 認知症の高齢者のマークのようなものもあると思うが。(栗田会長)
- ⇒ 高齢者の徘徊はオレンジ色のシールを靴に貼ってある。見つけたら警察に電話をしてほしい。(高杉委員)

## (4) 「お花で笑顔に」プロジェクトについて

議長の指示により、学校支援コーディネーターの石田委員から別紙資料に基づき「お

花で笑顔に」プロジェクトについて説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 続けていくか相談すれば良いか。教頭先生からの意向はあるか。(中根委員)

⇒ 子供たちの生活に潤いを与えたい。また、来校者に明るい印象を持ってほしい。

職員が入れ替わっても持続できるやり方をしたい。(教頭)

- ・ 花があった方がよい。サブスクのような感じで廃棄しそうな花を安く買えないか。

(高杉委員)

- ・ 常時というのはどのくらいのタイミングか。(佐藤委員)

⇒ 切り花は1週間持たないくらいだが、毎週は厳しい。ちらほら集まるのが丁度良いが、月に1回くらいで飾れたら良い。(教頭)

- ・ 自分が子供の時は当番があって花を持って行ったが、今は難しい。(西村委員)

- ・ 高齢の、好きで花を育てている人は、頼めば喜んで持って来てくれるのでは。(中根委員)

- ・ 育てている人も自分で学校に持って行くのは大変だから、「誰かが取りに来てくれるならいいですよ」と言っていた。(田光委員)

- ・ 子供たちにチラシを作ってほしい。チラシがあれば配布できる。さくら連絡網やPTA総会で保護者への声掛けをしてもらいながら、厚意での寄付も頼む。(石田委員)

- ・ 学校に大変なことをお願いしてはいけないので、大変だったら言ってほしい。みんなで知恵を出し合いながらやる。(栗田会長)

- ・ 別件だが、運動会のソーランで使う法被を集めている。家庭で用意できない分だが、寄付は難しそう。町内の法被を借りられないかお願いしているが、洗濯の問題がある。来年度以降は学校でクリーニングの予算を取ることも可能かもしれないが、一番良いのは洗濯なしで返却したい。法被を調達する良い案があれば教えてほしい。(石田委員)

- ・ 法被は絶対に必要か。代用はできないか。(西村委員)

⇒ 全員必要で、代用も難しい。まずは家庭にどの程度あるか確認し、あまりになれば全く違う代替案を考える。(教頭)

- ・ 法被は自治会での貸し出しは必ずクリーニングをしてもらう。祭典費も集まりにくく、自治会もクリーニング代の捻出をどうするかという状態だから、簡単には貸し出しできない。(森田委員)

議長より以上で熟議終了の通告があった。

### 13 その他、連絡事項等

教頭より、次回会議は11月18日(月)13時45分からひだまりで開催する旨の

報告があった。